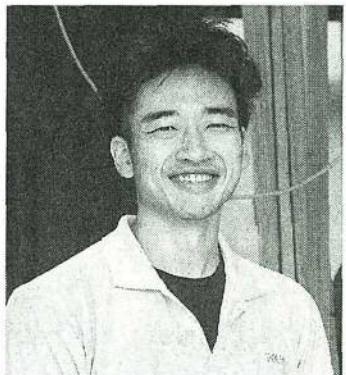


ひと

賞に恥じないものづくりを

建設ジユニアマスター顕彰を受賞した馬場 和樹さん
ボラスハウジング協同組合の大工 馬場 和樹さん



10月6日、優秀な技術・技能を持ち、今後更なる活躍が期待される青年技能者に与えられる国交省「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰」(建設ジユニアマスター)を受賞。108

これまでにも、青年技能者が技を競い合う「技能五輪」で銀賞1回、敢闘賞2回を受賞し、熟練技能者向

けの「技能グランプリ」でも敢闘賞を2回獲得。31歳という若さながら多くの舞

台で高い評価を受けているものの、「特に技能グランプリでは本当に卓越した技術者が多く、ハードルの高さを実感している」と謙虚な様子。「チャンスがあれ

ば金賞も狙いたいし、競技の感謝を述べる。

これまでにも、青年技能者が技を競い合う「技能五輪」で銀賞1回、敢闘賞2回を受賞し、熟練技能者向

けの「技能グランプリ」でも敢闘賞を2回獲得。31歳

という若さながら多くの舞

台で高い評価を受けているものの、「特に技能グラン

た」と振り返る。そのある意味で漠然とした情熱は、訓練校で花開く。大工仕事の面白さに魅せられ、真摯な姿勢で打ち込むうちに技術は飛躍的に向上し、数々の受賞という実を結んだ。

大工としてのキャリアが10年を超えた今も、「やはり仕事をすることが一番大事」という貫した姿勢には、周りからの信頼も厚い。

青森県出身で、工業高校の機械科卒。級友たちが機械系の就職や進学を決めていく中、より直接的な「ものづくり」に携わりたいと

いつ気持ちから、ボラスの建築技術訓練校へ進学。

「このまま地元にいても

『きっと本当にやりたいものは見つからない』という

思いがあつたし、環境を変えていきたい」ということもあつた。

（佐藤順真）